

可決した議員提案

九月定例会で可決した議員提案のうち、次の意見を書理大臣をはじめ、関係大臣等に送付しました。
ミニマム・アクセス米による「事故米」の食用転用・不正流通の真相究明と再発防止対策強化を求める意見書

農林水産省が販売した農業やカビで汚染されたミニマム・アクセス米が、米穀加工販売会社「三笠フーズ」で発覚し「事故米」の食用へ転用は、おにぎり、和菓子、焼酎・せんべいに加工程学校給食や老人施設などに販売され、食の安全・安心・信頼を求める国民世論に反し、国民の命と健康に関わる重大な社会問題となっています。

「事故米」が食用に回り、おいしい国産米が飼料に転用されている。確実な飼料にするための加工を怠るだけでなく、主食用に転用された米の調査監視が、実態の公表は不可欠です。このような農政は日本農業を崩壊に導くのではないのでしょうか。

主食用を輸入しなくてもよい事故のため、私たちは今回の事件の全容を解明するとともに、技術的な防止対策や制度改善を要請するとともに、左記事項の実現を強く要請します。

一 今回この事件の全容を徹底解明し公表すること。
 二 問題の食品を特定し一日も早く回収すること。
 三 今回このような事件を二度と起こさないよう、管理責任・監視体制強化などの万全の対策を実施すること。

四 「事故米」は食用に転用ができないような対策をとること。今回転用されたすべてのルート、事例について公表すること。
 五 「輸入義務」でなく「輸入機会の提供」であるミニマム・アクセス米の輸入が事件の根本にあります。食の安全と自給率向上のためにもミニマム・アクセス米の輸入を中止すると、米の銘柄を飼料とする生産調整はもつたない事です。確実な飼料として活用された事例の流通経路の証明を農家に公表し、主食用への不正転用、横流しがないうよう調査と監視を強化し農家に報告、ベナルティはしないこと。

この角であることは明らかです。残念ながら会社の存亡がかることが分かっていながら、食品の偽装事件が後を絶たない食品業界にあって、三笠フーズだけが特殊だったとは思われません。徹底した解明と対策が必要で、世界が食料危機に直面するなかで、「輸入義務」として多くの在庫を抱えている中で起きているという事態は重要で、ミニマム・アクセス米の輸入を中止すれば、国内での米増産と備蓄制度も棚上げ方式にすることで工業原料も確保でき強制的な生産調整の必要もありません。わが国現市は、地産地消、食の安全と自給率向上都市を宣言、全国学校給食甲子園での優勝や「ふれあいパーク八日市場」直売所の降参など食の安全、自給率向上に取り組んでいるところ。輸入した汚染ミニマム・アクセス米が食用に転用される中、匠城市は、千葉県銘柄米「ふさおとめ」「ふさこがね」などが「屑米を取り除き、乾燥水分も十五％以内、重量も三十・五十グラムと調整された」市場価格六十キログラム一万三千円の主食用として、生産調整で特定の業者に集荷され流通が進められています。屑米も六十千円で販売され

ている中、農家は基盤整備事業の採択のため、泣く泣くベナルティを警戒し協力しています。
 輸入米の飼料用、工業用「事故米」が食用に回り、おいしい国産米が飼料に転用されている。確実な飼料にするための加工を怠るだけでなく、主食用に転用された米の調査監視が、実態の公表は不可欠です。このような農政は日本農業を崩壊に導くのではないのでしょうか。

一 今回この事件の全容を徹底解明し公表すること。
 二 問題の食品を特定し一日も早く回収すること。
 三 今回このような事件を二度と起こさないよう、管理責任・監視体制強化などの万全の対策を実施すること。

四 「事故米」は食用に転用ができないような対策をとること。今回転用されたすべてのルート、事例について公表すること。
 五 「輸入義務」でなく「輸入機会の提供」であるミニマム・アクセス米の輸入が事件の根本にあります。食の安全と自給率向上のためにもミニマム・アクセス米の輸入を中止すると、米の銘柄を飼料とする生産調整はもつたない事です。確実な飼料として活用された事例の流通経路の証明を農家に公表し、主食用への不正転用、横流しがないうよう調査と監視を強化し農家に報告、ベナルティはしないこと。

六 銘柄米を飼料とする生産調整はもつたない事です。確実な飼料として活用された事例の流通経路の証明を農家に公表し、主食用への不正転用、横流しがないうよう調査と監視を強化し農家に報告、ベナルティはしないこと。

この角であることは明らかです。残念ながら会社の存亡がかることが分かっていながら、食品の偽装事件が後を絶たない食品業界にあって、三笠フーズだけが特殊だったとは思われません。徹底した解明と対策が必要で、世界が食料危機に直面するなかで、「輸入義務」として多くの在庫を抱えている中で起きているという事態は重要で、ミニマム・アクセス米の輸入を中止すれば、国内での米増産と備蓄制度も棚上げ方式にすることで工業原料も確保でき強制的な生産調整の必要もありません。わが国現市は、地産地消、食の安全と自給率向上都市を宣言、全国学校給食甲子園での優勝や「ふれあいパーク八日市場」直売所の降参など食の安全、自給率向上に取り組んでいるところ。輸入した汚染ミニマム・アクセス米が食用に転用される中、匠城市は、千葉県銘柄米「ふさおとめ」「ふさこがね」などが「屑米を取り除き、乾燥水分も十五％以内、重量も三十・五十グラムと調整された」市場価格六十キログラム一万三千円の主食用として、生産調整で特定の業者に集荷され流通が進められています。屑米も六十千円で販売され

この角であることは明らかです。残念ながら会社の存亡がかることが分かっていながら、食品の偽装事件が後を絶たない食品業界にあって、三笠フーズだけが特殊だったとは思われません。徹底した解明と対策が必要で、世界が食料危機に直面するなかで、「輸入義務」として多くの在庫を抱えている中で起きているという事態は重要で、ミニマム・アクセス米の輸入を中止すれば、国内での米増産と備蓄制度も棚上げ方式にすることで工業原料も確保でき強制的な生産調整の必要もありません。わが国現市は、地産地消、食の安全と自給率向上都市を宣言、全国学校給食甲子園での優勝や「ふれあいパーク八日市場」直売所の降参など食の安全、自給率向上に取り組んでいるところ。輸入した汚染ミニマム・アクセス米が食用に転用される中、匠城市は、千葉県銘柄米「ふさおとめ」「ふさこがね」などが「屑米を取り除き、乾燥水分も十五％以内、重量も三十・五十グラムと調整された」市場価格六十キログラム一万三千円の主食用として、生産調整で特定の業者に集荷され流通が進められています。屑米も六十千円で販売され

この角であることは明らかです。残念ながら会社の存亡がかることが分かっていながら、食品の偽装事件が後を絶たない食品業界にあって、三笠フーズだけが特殊だったとは思われません。徹底した解明と対策が必要で、世界が食料危機に直面するなかで、「輸入義務」として多くの在庫を抱えている中で起きているという事態は重要で、ミニマム・アクセス米の輸入を中止すれば、国内での米増産と備蓄制度も棚上げ方式にすることで工業原料も確保でき強制的な生産調整の必要もありません。わが国現市は、地産地消、食の安全と自給率向上都市を宣言、全国学校給食甲子園での優勝や「ふれあいパーク八日市場」直売所の降参など食の安全、自給率向上に取り組んでいるところ。輸入した汚染ミニマム・アクセス米が食用に転用される中、匠城市は、千葉県銘柄米「ふさおとめ」「ふさこがね」などが「屑米を取り除き、乾燥水分も十五％以内、重量も三十・五十グラムと調整された」市場価格六十キログラム一万三千円の主食用として、生産調整で特定の業者に集荷され流通が進められています。屑米も六十千円で販売され

9月定例会の審議結果

番 号	議 案 名 と 内 容	本会議結果
市長提出議案		
報告第1号	平成19年度匠城市健全化判断比率について	
報告第2号	平成19年度匠城市病院事業資金不足比率について	
報告第3号	専決処分の報告について（損害賠償の額の決定及び和解について）	
議案第1号	平成19年度匠城市一般会計歳入歳出決算認定について（地方自治法第233条第3項の規定により、認定を求めるもの）	認 定
議案第2号	平成19年度匠城市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について（地方自治法第233条第3項の規定により、認定を求めるもの）	認 定
議案第3号	平成19年度匠城市老人保健特別会計歳入歳出決算認定について（地方自治法第233条第3項の規定により、認定を求めるもの）	認 定
議案第4号	平成19年度匠城市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について（地方自治法第233条第3項の規定により、認定を求めるもの）	認 定
議案第5号	平成19年度匠城市病院事業決算認定について（地方公営企業法第30条第4項の規定により、認定を求めるもの）	認 定
議案第6号	平成20年度匠城市一般会計補正予算（第2号）について（予算の総額を歳入歳出それぞれ131億3,523万8,000円とするもの）	原案可決
議案第7号	平成20年度匠城市介護保険特別会計補正予算（第1号）について（予算の総額を歳入歳出それぞれ23億1,441万9,000円とするもの）	原案可決
議案第8号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決
議案第9号	匠城市議員定数条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第10号	匠城市認可地縁団体印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第11号	匠城市ひとり親家庭等医療費等の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第12号	国保匠城市民病院事業使用料及び手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第13号	匠城市墓地等の経営の許可等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第14号	匠城市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議員提出議案		
発議案第1号	匠城市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決
発議案第2号	ミニマム・アクセス米による「事故米」の食用転用・不正流通の真相究明と再発防止対策強化を求める意見書について	原案可決
陳 情		
陳情第1号	自主共済制度の保険業法適用除外を求める陳情書	不採択
6月定例会陳情案1号（継続審査）	住民の暮らしを守り、安全・安心の公共サービス拡充を求める陳情書（陳情項目3、5）	継続審査

米の輸入を中止すると、米の銘柄を飼料とする生産調整はもつたない事です。確実な飼料として活用された事例の流通経路の証明を農家に公表し、主食用への不正転用、横流しがないうよう調査と監視を強化し農家に報告、ベナルティはしないこと。

この角であることは明らかです。残念ながら会社の存亡がかることが分かっていながら、食品の偽装事件が後を絶たない食品業界にあって、三笠フーズだけが特殊だったとは思われません。徹底した解明と対策が必要で、世界が食料危機に直面するなかで、「輸入義務」として多くの在庫を抱えている中で起きているという事態は重要で、ミニマム・アクセス米の輸入を中止すれば、国内での米増産と備蓄制度も棚上げ方式にすることで工業原料も確保でき強制的な生産調整の必要もありません。わが国現市は、地産地消、食の安全と自給率向上都市を宣言、全国学校給食甲子園での優勝や「ふれあいパーク八日市場」直売所の降参など食の安全、自給率向上に取り組んでいるところ。輸入した汚染ミニマム・アクセス米が食用に転用される中、匠城市は、千葉県銘柄米「ふさおとめ」「ふさこがね」などが「屑米を取り除き、乾燥水分も十五％以内、重量も三十・五十グラムと調整された」市場価格六十キログラム一万三千円の主食用として、生産調整で特定の業者に集荷され流通が進められています。屑米も六十千円で販売され

議会を傍聴してみませんか。
 12月定例会開催中！！
 5日(金)～19日(金)まで
 日程などのお問い合わせは、議会事務局
 *または市のホームページまで。

議会編集委員

委員長	委員	委員長	委員
浅野 剛一	栗田 剛一	佐藤 正雄	佐藤 正雄
田村 明美	田村 明美	佐藤 正雄	佐藤 正雄
浪川 茂夫	浪川 茂夫	佐藤 正雄	佐藤 正雄

会議録を
ご覧下さい